

調査結果・分析

調査事項

調査結果・問題点

分析

随意契約

平成13年
7月11日 随意契約決定

- 管理者の主導により、競争入札から随意契約に覆されている
- 技術評価表は、実績評価のみで専門的な評価はされていない
- 随意契約の決定根拠である技術評価表の作成者が不明である

- **不透明な契約経過** • 管理者の主導により、5社競争指名入札から1社随意契約に覆されており、決定根拠である技術評価表は作成者が不明であり透明性に欠ける
- **不合理な随意契約** • 随意契約の決定根拠は技術的・価格の合理性に欠けている。公的な技術評価書等無視し、ことさら稼働実績を誇張していることは、業者選定の検討について合理性に欠けている

特記仕様

7月 2日 メーカー独自提案
8月 8日 特記仕様提案
8月16日 特記仕様採用

- 破碎ごみピットと、触媒反応塔の削除など5項目がヒアリング時に独自提案されている
- 当初目指した性能仕様から、明らかにレベルダウンになっている
- 技術的専門機関が反対していたが、管理者のみの判断により採用されている

- **不合理な特記採用** • 技術的専門機関の反対意見を聞き入れることなく、具体的理由もないまま採用している
- **契約要件に欠ける** • 特記仕様採用は、仕様書から大きく性能レベルダウンしており技術的合理性がない
- この採用により中津川市が当初目指した環境理念と異なる結果となった
- 性能ダウンの特記仕様を、契約前に1社だけ採用することは、公平・公正さに欠け、性能仕様面で契約要件を満たしていない

※ 特記仕様の内容

1. 前処理設備の簡略化
①脱水又は乾燥装置の削除
②2段ピット方式を1段ピット方式へ変更
2. ボイラ形式の変更・・・テールエンド形からマルチパス形への変更
3. 排ガス処理の簡略化・・・触媒用加熱器と触媒反応塔の削除
4. タービン形式の変更・・・背圧方式から復水方式への変更
5. 粗大破碎機防爆方式の変更・・・蒸気吹込み方式から空気希釈方式への変更

契約価格

8月22～25日 価格交渉
8月27日 仮契約
8月29日 本契約

- 随意契約を先に決めたことで、価格交渉において不利な状況になっている
- (株)神戸製鋼所受注プラントのうち、中部上北、石巻の安い契約実績が加味された金額とはなっていない
- 仕様変更に伴う精算及び変更契約がされていない

- **高い契約額** • 契約は70億2,450万円と高い額で妥結しており、予算に対して少し切っただけの98.4%となっている
- 契約額は見積額に対して91.0%であり、環境省調査結果の競争入札平均値81.9%を大きく超える数値である
- **管理者の努力不足** • (株)神戸製鋼所の受注実績を全て加味し、リサイクルプラザを適正評価すれば更に10億円程度安く契約出来た可能性があり、管理者の努力不足は否めない

汚泥処理

11月 9日 仕様変更指示
11月30日 実施設計図書提出

- 内部乾燥方式により施設内全量焼却処理で発注しているものが、外部乾燥方式に変更されてしまっている
- この変更により外部乾燥施設が必要となり、新たな費用が発生する
- 乾燥方式の変更について、書面による変更契約がされていない

- **不適正な計画推進** • 内部乾燥方式で施設内全量焼却処理という新しいコンセプトが、十分検討されないまま変更されている
- **管理者の職務不履行** • 発注仕様書の重要性と契約の変更に対する認識が、組合事務局に欠如していた
- 結果として外部乾燥方式を選択しており、全量処理のためには供用開始に合わせ乾燥施設が必要であったが、設置されていない。これは管理者の職務不履行である
- 方式変更に伴う施設内外を含めた価格の精算を行うべきであった

性能

平成16年4月 1日 供用開始
平成18年3月31日
性能等評価検証結果報告書提出

- 稼働後トラブルが頻繁に発生し、不安定な稼働状況である
- 排ガス値・灯油使用量等性能保証値を超過しているものがある
- 特記仕様採用により、当初目指した性能仕様からレベルダウンになっている

- **余裕のない性能** • 評価検証委員会の指摘どおり、性能保証の一部が余裕のない状況でぎりぎり確保されている。当委員会は給じん設備関連トラブルなどを重大トラブルと認識しており、性能面でまだ十分とは言えない
- **特記による性能低下** • 特記仕様採用による破碎ごみピット及び触媒反応塔の削除が、安定稼働の面で性能レベルダウンになっている